

Musée Bernard Buffet



Buffet-Kun e-book vol.10

ベルナール・ビュフェをもっと好きになる月刊紙!!

月刊ビュフェくん

1970-
1979

第10号 ベルナール・ビュフェ美術館

西島
大介



後に描く「日本の旅-（昭和）と「車」（昭和）」

1971年、フランス政府より
レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエの称号を
授けられたベルナール・ビュフェ43歳。
同年5月には養子(第三子)ニッラを迎え、
パリ郊外ヴァリエール＝マイユに引っ越します。

長女ヴァレジーヌ、次女ダニエル、三番目の男の子がニッラ。

一方、その北東
極東の土地
日本で...

あ...
富士山

ここが
静岡県
長泉町



ベルナール...



ビュフェ
美術館?

1973年11月25日、ベルナール・ビュフェ美術館
なぜ この土地に
ビュフェ専門の美術館は誕生したのでしょうか?

土地元の銀行家であった 岡野喜一郎の
個人的なコレクションを元に美術館は
オープン。

なぜ...

僕の
作品を?



それはあの
ビュフェ
くん...

岡野喜一郎。1917年生まれ、ビュフェより11歳年上です。

え!? 僕の美術館?

開館当時、まだリマキスの丘という名称はない。

岡田豊一郎「ジュッと私（アキラ）より。日本の敗戦時28歳の青年でした。」

「当時のわかれ青年を
掩っていた敗戦による

(ああ)

虚無感と

無気力のさなかに、

(ニッぽう)

一筋の光芒を与えて

くれたのが彼の
(ビツェ)

絵であったの



虚無

ナニホド...



という
わけよ

戦争を
またいだ
世代

日本も
フランスも
同じ戦争を
体験した。

日本人として
君の作品に
共感したし、
に打たれた
よ!



復員後にビュフェの絵と出会ったそうです。

そうだった
のか...

ハル



Merci...

ありがとう
ビュフェ
美術館

と言いつながらともビュフェくんは、
開館せしモニーには「人間女兼い」を王理由に
立ち合わず、妻アサベルが来日。



見た目は子ども…しかし年齢はビュフェ美術館と同じ年。現在46歳。

セシモニーでは
美術館スリロ前に
アサベルが
カスナキを植樹す。



そして現在、
開館から45年が経ち
大きく育った木です。
その木から
生まれた**妖精**が…



絵画に
向かい合う
ビュフェの
真摯さ、セピアは
子どもの
よう。

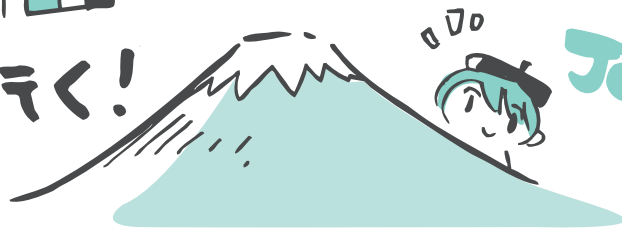
必然?



と、同時に売れっ子に
なっていくビュフェは
戦後のフランス、
そして日本の
経済成長とも
重なるのでした。

言葉の少なさ、題材の素朴さも子どもの的?

ビュフェくん 日本に行く!



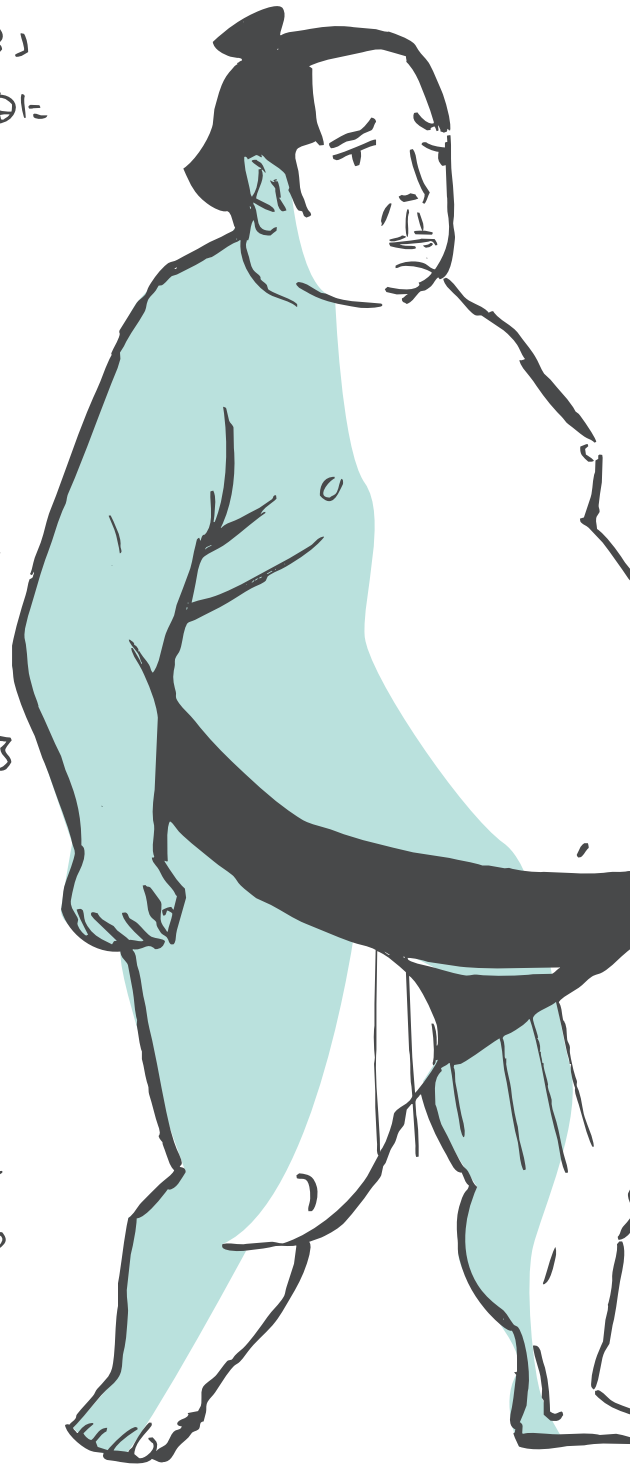
Japonisme
1980?

1973年の「ベルナール・ビュフェ美術館」
オープン時には「人ギライ」を理由に
来日しなかったビュフェくんですが、
1980年初来日。



美術館のある静岡県を中心に、
関西、伊勢志摩、

両国国技館にまで足を延ばし
ました。



美術館を満足そうに観て回る姿や、
京都の商店街を専らアサベルと闊歩したり
相撲観戦を楽しむ様子が写真に残っています。



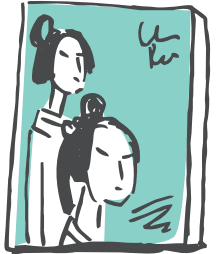
日本滞在の思い出は
1981年、テーマ展「日本」としてイロモノ化。
数あるビュフェのテーマイロモノの中でも
突出してエキゾチックです。

「日本への旅」というリトグラフも
制作。

あたしが
文章を...



寄せ
ました♡



イロモノ
「日本女性」(1980)

その6年後、1987年には
「相撲と歌舞伎」シリーズを発表。
再び日本に向かい合いました。

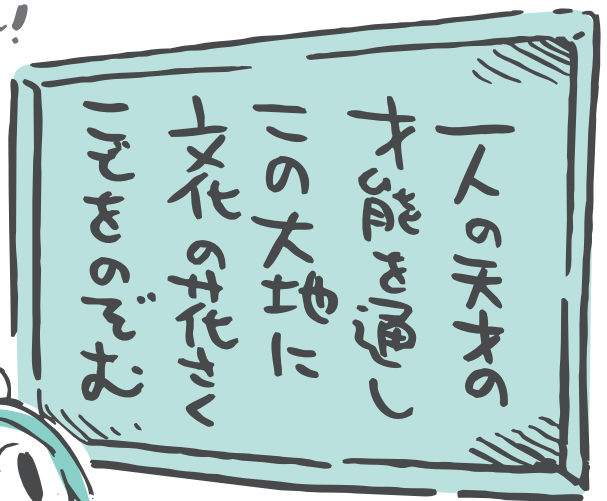
Musée Bernard Buffet

はっけ
よー!!...

日本と
眼み合
ビュフェくん!



19世紀にパリを席巻した
ジャポニズムの現代版の
ような趣きです。



ビュフェ美術館
外壁に刻まれた
岡野喜一郎の言葉より

イロモノ
「眼み合」
(1987)
より

